

(件名) 建設関連業務委託事故一覧 (H21~R7) について

(工事検査課)

1 概要

静岡県の建設工事・業務委託における事故は、依然として多発しており、そのうち、約2～3割が業務委託となっています。

このため、交通基盤部では、これまで得た事故の経験や対策などのノウハウを生かし、業務委託関連の事故防止に取り組む「建設関連業務委託事故防止行動計画」を令和3年度に策定し、令和3年4月1日から施行しているところです。

業務関連の事故防止に向けてこのたび、これまでに発生した事故の知見を有効活用できるよう最近17年間の情報をとりまとめた「建設関連業務委託事故一覧表(土木・農林)」を策定しました。

については当課ホームページ及びDBに掲載するので、発注者と受注者が互いに連携して業務の安全対策に取り組んでいただきますようお願いします。

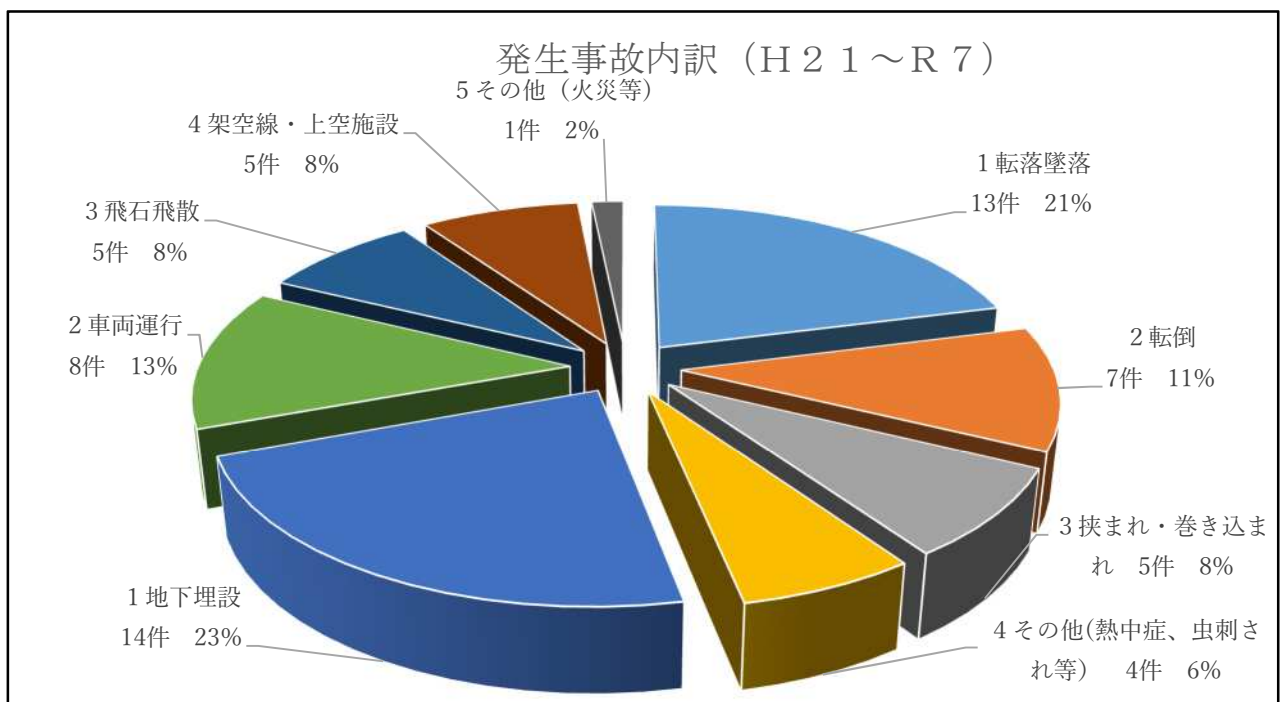
2 事故発生件数

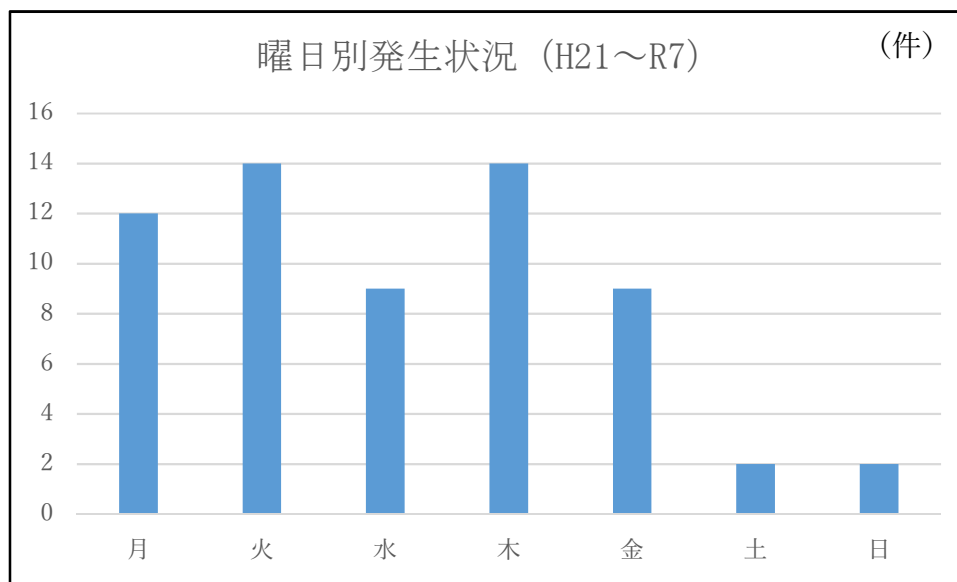
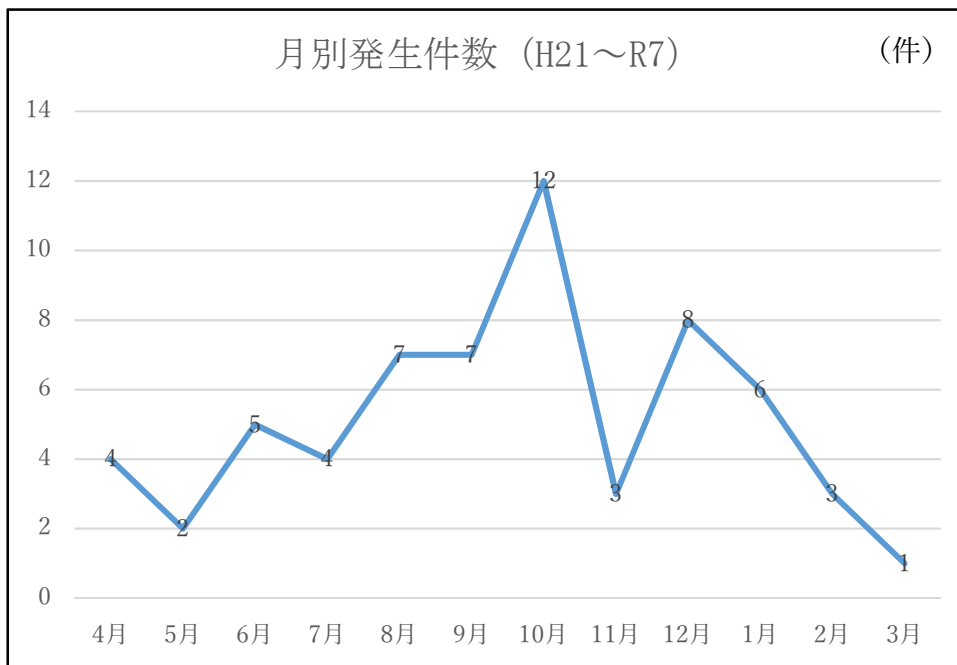
建設関連業務委託(土木・農林)の事故発生状況(平成21年度～令和7年度) (件)

労働災害			公衆災害			計			
死亡①	傷害② (休業4日以上)	傷害③ (休業4日未満)	死亡④	傷害⑤	物損⑥	死亡 ①+④	傷害 ②+③+⑤	物損⑥	合計 ①+②+③+④+ ⑤+⑥
0	11	18	0	0	33	0	29	33	62

対象は「業務委託共通仕様書」及び「農林土木業務委託共通仕様書」を適用する業務

【図】 発生事故内訳 (H21~R7) (全体 62 件)





3 考察

全体 62 件中の労働災害（休業 4 日未満含む）が 29 件、公衆災害が 33 件でした。

- ①事故の発生時期は 8 月～1 月で多くなる傾向にあるが、これは、受注業務の現場作業が本格稼働している時期と考えられる。
- ②事故の発生曜日については、すべての曜日で発生している。特に週の前半及び後半で多いが、休日明けはリズムの変化や業務時の感覚が戻っていないことが考えられ、休日前は業務の追い込みによる疲労や気の緩みが不安全行動に繋がりがやすいことが原因と考えられる。
- ③労働傷害の内容については、1 墜落転落(13 件)、2 転倒(7 件)、3 挟まれ・巻き込まれ(5 件)の順に発生件数が多く、前記 3 種で労働傷害の 86%になっている。
- ④公衆災害については、1 地下埋設(14 件)、2 車両運行(8 件)、3 飛石飛散(5 件)、4 架空線・上空施設(5 件)の順であるが、地下埋設物の損傷だけで公衆災害の 42%を占め、突出している。

地下埋設物の損傷事故は、依然として多発し課題となっているため、令和 4 年 11 月に建設工事等では「静岡県地下埋設物の事故防止マニュアル」を策定しています。このマニュアルの活用により地下埋設物の損傷事故防止に取り組まれるようお願いいたします。

引き続き「建設関連業務委託事故防止行動計画」における「事故対策 PDCA（予測⇒対策⇒検証⇒改善）」サイクルを回し、受・発注者が連携して建設関連業務事故の発生防止に取り組んでいただきますようお願いいたします。